

週刊

こんにちは 山田耕平 です

2018.3.29 No.296

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺2-2-11
TEL 090-9973-0941
ホームページ
<http://yamadakohei.jp>



天沼小、高井戸第二小などで深刻化…

小学校の教室が不足 児童数は増加傾向

過度の少子化を煽り 統廃合等を進めた結果

予算特別委員会において、児童数の増加により小学校普通教室が不足し、教育環境に影響を及ぼしている問題を質しました。

少子化による児童数の減少等を理由として、若杉小と杉並第五小が統廃合され天沼小が開校しました。開校時の児童予測は408名で新校舎の普通教室は最大15教室でした。しかし、その後も児童数が増え続け、今年度は児童数が575名、学級数は20学級と大幅に増加。当初の想定より1.4倍、167名も多く、児童予測が実態とかけ離れています。

杉並区は5年間の児童数予測しか行なっておらず、過度の人口減少と少子化を煽り、学校統廃合を強行した結果、現在の教室不足が発生する事態となっています。



天沼小の普通教室確保のための改修に関する配置図

図書室は廊下へ 面積も半減…

天沼小では、新設校舎であるのにも関わらず普通教室を確保するために図書室や特別教室、トイレを廃止・縮小し普通教室に改修しました。図書室は一時的に廃止し、廊下に図書を置き、ざるを得ない深刻な事態となりました。

児童数が大きく増加している学校 (平成18年から29年までの増加数)

日本共産党杉並区議団調べ

学校名	児童数	学級数
高井戸	+270名	+8
桃井第一	+232名	+9
天沼	+174名	0※1
高井戸第二	+139名	+9
荻窪	+132名	+5

※1天沼小は2校を統合した新設校のため、学級数の増減は無い。

※2特別支援学級の児童数、学級数は含まない。

※3杉並区の「児童・生徒数、学級調査数」より集計

その後、統廃合された小学校の歴史を振り返る資料等を展示している郷土資料室を廃止し、図書室に転用しましたが、面積は大幅に縮小することとなりました。

小学校で重要な役割を担う図書室や特別教室の機能が縮小していることは問題です。保護者からも教育環境の低下を懸念する声が相次いで寄せられています。

施設削減ありきの姿勢を改めよ

この間、杉並区は区の将来人口推計を使い分け、区立施設の削減や学校統廃合を強行してきました。「施設削減ありき」の区政運営が続いた結果、現在の子どもの教育環境にも重大な影響を与えていることは問題です。

区は自らの失策を反省し、区立施設再編整備計画は凍結すべきです。区立施設の今後の在り方については、直近の人口動向を含めた検証と住民との膝詰めの協議を尽くすことが必要です。

